

自民党

2025年
1月号明石市議会
自由民主党明石

明石の成長と発展。私たちが前へ進めます！

ごあいさつ

豊かさを感じることができる明石へ

ご家族の皆さまと清々しい年をお迎えのことと存じます。謹んでお慶び申し上げます。旧年中は多くの皆さまにご支援・ご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

また、昨年は選挙イヤーでもありました。衆議院選挙、知事選挙、県議会議員補欠選挙と3つの選挙を通じて、多くの市民の皆さんの声を聴かせていただきました。物価高騰、経済成長の鈍化、福祉施策の偏向等々、本市の課題は山積していると改めて痛感いたしました。

この課題解決のために、自由民主党明石として「政治の力で前に進めていく」と決意新たに、会派8人全力で取り組んでまいります。

まずは、市民の皆さんが『豊かさを感じることができる明石市』を創らねばなりません。当然ながら今ある**子供施策の継続**は必須です。そのために持続可能な財政を創らなければなりません。そして、**地域経済の好循環**により**市民の所得**（可処分所得も含む）が向上する未来への投資を行っていかねばなりません。次の一手が必要であります。しかしながら、本市は積み残した施策（市役所整備、新ごみ処理施設、公設市場、市民病院等々）が山積しているため本市単独予算での次の一手となる事業実施は難しい面があります。

だからこそ、**政治家による工夫**が必要となります。我々自由民主党明石はその責任と役割、手段があります。

本会議において市長への提言、そして何よりも国へ本市の現状を伝える予算要望からの「**確かな歳入確保**」であります。

今年も課題を共有する丸谷市長と共に西村康稔衆議院議員を通じて国会への陳情に行ってきました。様々な形で財源が確保されつつあります。

また、自民党としていわゆる103万円の壁の大幅拡充等の**減税措置施策も**国会議員に伝えてまいりました。国・県・市一丸となって国民の豊かさを創り、日本、明石の発展と課題解決のために、課題を前に進めてまいります。

明石市議会 自由民主党明石 幹事長 千住 啓介

国会、省庁への要望事項

- 1 社会基盤整備予算の満額確保
- 2 防災・減災対策の総合的な推進
- 3 社会基盤施設の老朽化対策の推進

I 都市構造再編集中支援事業〈個別補助〉

- ・明石駅周辺地区整備事業
- ・西明石駅南地区整備事業

II 安心・安全なまちづくりに向けたインフラ整備・老朽化対策

1 すべての人にやさしい道づくり

- ・国道28号（中崎地区）歩道整備
- ・県道有瀬大蔵線 歩道リニューアル
- ・都市計画道路朝霧二見線（谷八木小前・江井島工区）街路整備
- ・市道魚住1号線ほか通学路安全対策（市内一円）

2 道路ネットワークの早期整備

- ・神戸西バイパスの早期整備をはじめとした、関西都市圏のミッシングリンクの解消
- ・国道2号（和坂拡幅）現道拡幅
- ・国道2号（帝釈橋）橋梁架替
- ・都市計画道路 山手環状線ほか1路線（大窪工区）バイパス整備
- ・市道大久保840号線（都市計画道路 江井ヶ島松陰新田線）バイパス整備

3 道路・橋梁の老朽化対策の推進

- ・県道明石高砂線 大観橋 橋梁補修
- ・市道大久保145号線 戊亥谷橋 橋梁補修
- ・市道藤江21号線 極楽橋 橋梁補修

4 総合的な治水対策

- ・二級河川明石川河道拡幅（JR橋梁部）
- ・二級河川清水川河道拡幅

5 その他インフラの長寿命化

- ・下水道施設老朽化対策事業（二見浄化センター汚泥消化タンク設備改築など）
- ・公園施設長寿命化対策支援事業（明石中央体育館改修工事など）

豊かな海の再生に向けた取組に関する要望

自由民主党明石は
国に要望・提案して
まいります！自由民主党明石は
住みやすい明石の街を
創ります！

武部新文部科学副大臣

中田宏環境副大臣

小林史明環境副大臣

高橋克法国土交通副大臣

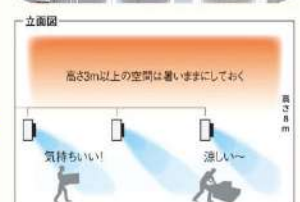
水産庁にて

財務省にて

市内全中学校と明石商業高等学校の体育館に
エアコンの設置が実現します

これまで自由民主党明石が強く要望していましたが、本市における学校施設の空調整備としましては、全小中養護学校において、普通教室と特別教室に令和2年度までに設置が完了しました。さらに体育館に係る空調設備整備につきましても、令和6年11月に緊急防災・減災地方債を継続的に活用できるよう要望してまいりました。その効果もあり、市内全中学校と明石商業高等学校に、令和7年夏に空調設備の設置が完了する予定となっています。空調設備については、バスケットゴールの高さ程度の低い位置に設置して、ゆるやかな風ながら通常の空調機器の数倍の風量、かつ直進性のある冷風によって、3m以下のエリアを狙って50m先まで冷やすことができるため、人がいる空間のみを冷やせるようになっています。これにより、熱中症のリスクを下げることで、学校における活動の幅を広げることができ、部活動の環境が整備されることで運動の効率や効果も高まることが期待できます。また、大地震など大規模災害が発生し、多数の避難者を受け入れる際にも、対応が可能になります。

今後は小学校体育館にも整備できるよう、西村康稔衆議院議員や県内選出の自由民主党の国会議員に、緊急防災・減災地方債の適用期間の延長をすでに要望しております。子供たちの教育環境整備において、明石市だけでできないことも、これまで同様、国と連携することで要望を実現してまいります。



大久保駅周辺市有地について

12月議会において、大久保駅周辺市有地の利活用に向けた取り組みについて、全体構想の素案が市から示されました。

その内容は、①大久保市民センター敷地、②中部地区保健福祉センター用地（大久保駅東公園南側土地）、③JT跡地公共公益施設用地、④大久保駅南ロータリーについて、公共施設を駅の南北のいずれかに集約するのではなく、駅南北両エリアでのバランスのとれた都市機能の強化、利便性・快適性の向上を図るというものです。具体的には、大久保市民センターは、建築から40年以上が経過しており、老朽化が顕著なことから2025年度には基本計画、事業者選定をし、**中部地区保健福祉センター用地へ移転建設する**。その際、公民連携により民間施設も併設する。そして、大久保市民センター敷地は、民間への売却、もしくは貸付とすることです。我々が取り組んできたことが、ここに来てようやく**大久保市民センターを、スピード感をもって建替える**ことを第一に考えるという成果を生むことができました。JT跡地公共公益施設用地については、市有地1.5haのうち80%~90%程度を、防災機能を備えた公園として、10%~20%程度を図書館や交流施設などの敷地として整備することを基本とし、2026年度以降に基本計画を予定しているということです。また大久保駅南ロータリーについては、建物等の整備は検討せず、現状のロータリーとしての交通結節点の維持を基本とするということです。

自由民主党明石として、これらのことについて、地域の方々はもちろんのことではありますが、明石市民全体のことを考えて、これまでも、これからも、本会議や常任委員会等で議論をし、しっかりと取り組んでまいります。

市有地への導入機能と利用の方向性



明石市財政問題が顕在化 丸谷市長が3月議会で財政見通しを公表

明石市は現在、**114億円の財政基金を保有**しています。しかし、2030年代半ばには13~50億円程度減少すると予測されています。さらに、新庁舎建設の増額分（約32億円）や新ごみ処理施設、市民病院の建設費増加、そして市役所運営コストの上昇などを考慮すると、財政基金の減少はさらに加速する可能性があります。

近隣の西宮市では、令和4年に242億円あった財政基金が、わずか5年後の令和9年には0になる見通しです。これは、計画的な財政運営を怠ると財政基金が急速に枯渇してしまう現実を示す事例であり、明石市も同様のリスクを抱えています。114億円ある財政基金が、数年で消失しかねない事態を防ぐためにも、**財政の健全化と持続可能な施策運営が急務**となっています。

しかしながら、市民生活を支える既存施策を維持しながら、安定した財政運営と街のさらなる発展を同時に実現することは、明石市にとって欠かせないテーマです。「既存施策の維持」「安定的な財政運営」「街の発展」という3つの要素をいずれも諦めることなく進める必要があると考えます。

これまでも自由民主党明石は、国や県との強力な連携を活かし、明石市単独では実現が難しい事業を推進してきました。今回の「緊急防災・減災地方債」を活用した体育館エアコン設置事業は、その好例といえます。市民生活を守ると同時に、未来への投資を実現する取り組みです。今後も歳入の見直しや事業の優先順位づけを進めつつ、国や県からの補助金確保をさらに強化していく必要があります。

明石市が財政破綻の危機に陥ることなく、持続可能な発展を遂げるには、柔軟な発想をもとに実現性を高める抜本的な政策転換と、堅実な財政運営が欠かせません。私たち自由民主党明石は、**明石市の未来への投資と安定した市政運営の両立**を目指してまいります。

幹事長

千住 啓介

（事務所）二見町瑞里
Tel: (事務所) 078-915-0137
Mail: sen1010@camel.plala.or.jp
【所属委員会】総務常任委員会

副幹事長

石井 宏法

林3丁目
Tel: (事務所) 078-922-1181
【所属委員会】健康企画常任委員会 副委員長

会計幹事

出雲 有希子

（事務所）大塚町2丁目
Tel: (事務所) 080-9333-7331
【所属委員会】生活文化常任委員会

明石市議会 議長

辰巳 浩司

東仲ノ町
Tel: 078-911-4834

明石市議会 自由民主党明石

私たち明石市議会 自由民主党明石は8名の議員で構成。明石市議会の重責を担う会派としての責任と覚悟を持って市民の皆様への代表者として頑張っています。

5名目

三好 宏

西明石南町2丁目
Tel: (事務所) 078-922-0201
Mail: sanbare@miyohiro.net
【所属委員会】文教厚生常任委員会 委員長

4名目

榎本 和夫

大久保町高丘6丁目
Tel: (事務所) 080-4007-4148
【所属委員会】議会運営委員会 委員長 総務常任委員会

2名目

灰野 修平

大久保町駅前1丁目
Tel: (事務所) 078-936-0055
Mail: haino0055@gmail.com
【所属委員会】生活文化常任委員会

2名目

井藤 圭順

大寺2丁目
Tel: (事務所) 078-911-4087
【所属委員会】文教厚生常任委員会 議会運営委員会

ご意見・お問い合わせ

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

明石市議会
自由民主党明石

FAX 078-918-0466

MAIL contact@jimin-akashi.jp

HP <https://jimin-akashi.jp>

※いただきましたご意見は議会活動の参考にさせていただきます。※この広報紙は政務活動費で発行しています。